

朝の館内放送

令和8年7月6日

おはようございます。市長の中村健です。

先日、今年度より常設した市民公募事業の採択結果について発表しました。

約30もの団体から応募があり、生誕100年を祝う茨木のり子プロジェクト、西尾ウェディング、元劇団四季メンバーによるファミリーコンサートをはじめ、6事業を採択しました。

本事業については、市民による取り組みを予算的な面から支援するのが主な関わり方になりますが、それ以外にも、行政としては、広報面での支援・協力、人を繋げる面での支援・協力等が考えられます。

近年、西尾駅周辺での賑わい創出、名鉄西尾・蒲郡線の利用促進など、様々な分野で市民の主体的な発意による事業が営まれており、非常に誇らしく、また嬉しい限りです。

しかしその一方で、財政状況が厳しくなっていく中で、そのような活動を予算面で支援していくことが厳しくなっていきます。

また、AIが凄まじい速さで進化することに伴い、行政の仕事についても、机の上でできることは一定部分が人間からAIに置き換わっていくと考えられます。

そのような時代を迎える中で、行政に携わる人間には、コミュニケーション、人間関係の構築という部分がこれまで以上に重要になってきます。

仕事の中でそれをやるのももちろんですが、善意によって支えられていることも多い市民活動に対し、現場に行って敬意や感謝の気持ちを伝えることもできます。

自分が住む地域で市民主体のイベントが行われる時や、自分の仕事に関係する分野のイベントが市内で行われる時など、一市民として関わることで、新たな気づきや学びがきっとあるはず。

市民活動を盛り上げる機運をみんなで作っていきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。